

貞享騒動

多田嘉助の起こした一揆は、貞享騒動と呼ばれる近世初期最大規模の百姓一揆であった。松本領中萱（なかがや）村の庄屋であった多田嘉助は、総勢一万人を越える農民を率いて城下を取り巻き、減税をはじめ五箇条の要求を時の城主であった水野家に突きつけました。結果、要求の大方は認められましたが、その成否に係らず百姓一揆の首謀者は、処刑される運命にありました。しかし、この一揆では首謀者のみならず、その兄弟、子女など総勢二十八人が死罪という極めて苛酷な裁きが下され、多田嘉助は弟や子供たちと共に松本城を見下ろす勢高（せいたか）刑場で磔刑に処されたのです。



多田嘉助を祀る貞享義民社（JR中萱駅から徒歩約10分）



貞享義民社に隣接する多田嘉助の墓